

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 日本株需給(6/10~6/14))

2024/6/21

りそなホールディングス 市場企画部
ストラテジスト:武居 大暉、渋谷 和樹



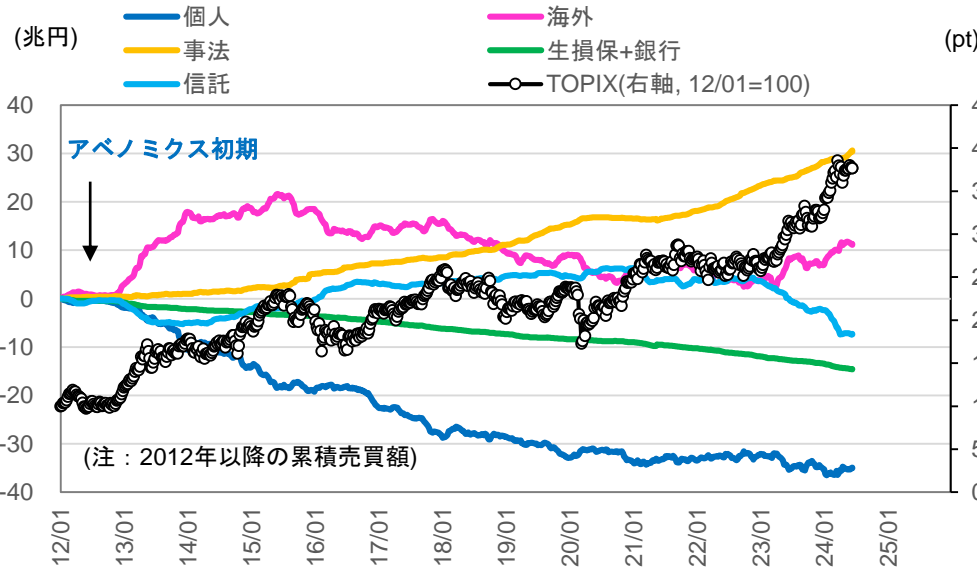
◎日本株需給分析①：海外投資家は4週連続の売越し

- ▶ 主体別売買動向によると、6/10~6/14にかけて海外は約2,500億円の売越し(4週連続)。個人は約850億円の買越し(2週連続)。GPIFの売買動向と連動する信託銀行は約1,600億円の買越し(4週ぶり)(図表1~2)。GPIFによる日本株の買い余地は約2.06兆円と推計(図表3)
- ▶ 同期間のTOPIXは、前週末の米ハイテク株の底堅さを受け上昇して始まったが、米CPIやFOMC、日銀金融政策決定会合などの重要イベントを抑える中で積極的な売買に乏しく、値動きは限定的となった。米CPIが市場予想を下回り利下げ期待が高まったことで、日本株の相対的な投資妙味が低下したほか、日銀金融政策の先行きを巡る不透明感が海外勢の売り越しに繋がったと考えられる。一方、逆張り傾向のみられる個人は相場下落局面で押し目買いが優勢となり、買い越しに繋がったとみられる。

図表2：主体別売買動向(主要二市場、現物)

単位 10億円	現物						TOPIX (pt)
	海外	個人	法人				
			投資信託	事法	金融機関		
				生損保+銀行	信託		
2024/4/27	215.9	-187.4	-157.0	56.2	-33.6	166.7	2,686.5
2024/5/4	174.6	-274.1	145.9	74.2	31.3	24.8	2,728.5
2024/5/11	263.6	-40.7	-49.9	136.9	-46.7	9.0	2,728.2
2024/5/18	38.4	-120.5	36.5	261.7	-45.5	47.2	2,745.6
2024/5/25	-113.9	81.6	-126.2	235.3	-22.3	-14.6	2,742.5
2024/6/1	-112.6	-88.7	80.7	258.3	-59.0	-167.7	2,772.5
2024/6/8	-198.7	286.1	3.0	292.1	-39.4	-130.4	2,755.0
2024/6/15	-249.4	85.4	-58.5	252.7	-21.3	156.2	2,746.6

図表1：主体別累積売買額の推移(主要二市場、現物)



- ・海外と個人以外の主体は、買い越しor売り越し基調が鮮明
- ・個人は逆張り傾向があり、日本株の動向は海外の需給に左右される

図表3：GPIFの日本株売買余地

■ GPIFの保有国内株式割合を仮に25%にするに必要の売買額の推計

	06/20時点の推計	12/29日以降の信託銀行の累積売買金額	差し引き
保有国内株式割合を仮に25%にするに必要の売買額の推計	-1.5兆円	-3.6兆円	2.06兆円

■ GPIFの運用状況推計

	2023/12/29時点		06/20時点の推計		基本ポートフォリオ	
	資産額(億円)	構成比	資産額(億円)	構成比	構成比	乖離許容幅
国内債券	583,450	25.8%	570,443	22.5%	25.0%	±7% pt
外国債券	553,277	24.4%	609,486	24.0%	25.0%	±6% pt
国内株式	558,258	24.7%	649,872	25.6%	25.0%	±8% pt
外国株式	569,157	25.1%	709,324	27.9%	25.0%	±7% pt
合計	2,264,142	100.0%	2,539,126	100.0%	25.0%	-

注：ベンチマークとしているインデックスの決算時点以降の価格変動率のみから推計

(出所：QUICK, Bloomberg)

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 日本株需給(6/10~6/14))

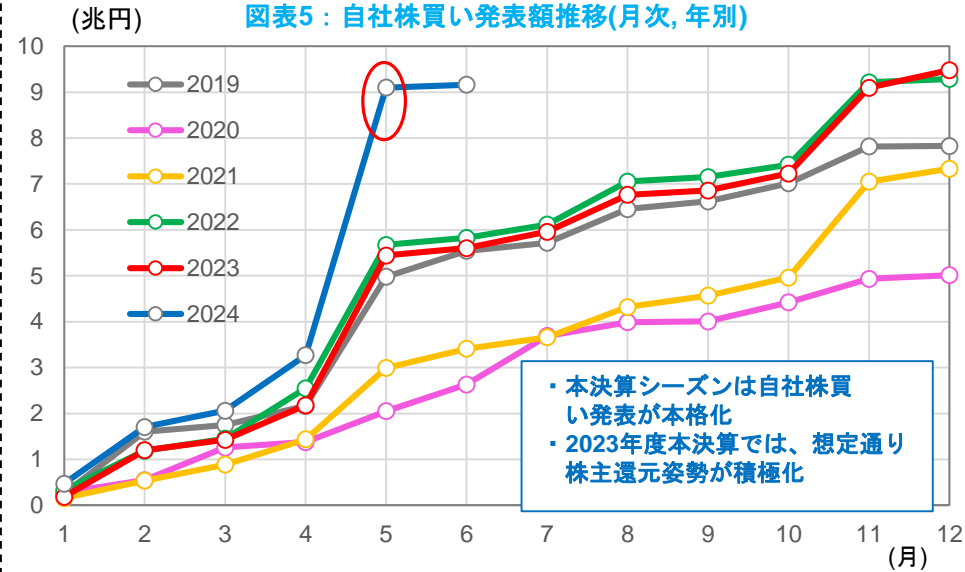
2024/6/21

りそなホールディングス 市場企画部
ストラテジスト: 武居 大暉、渋谷 和樹

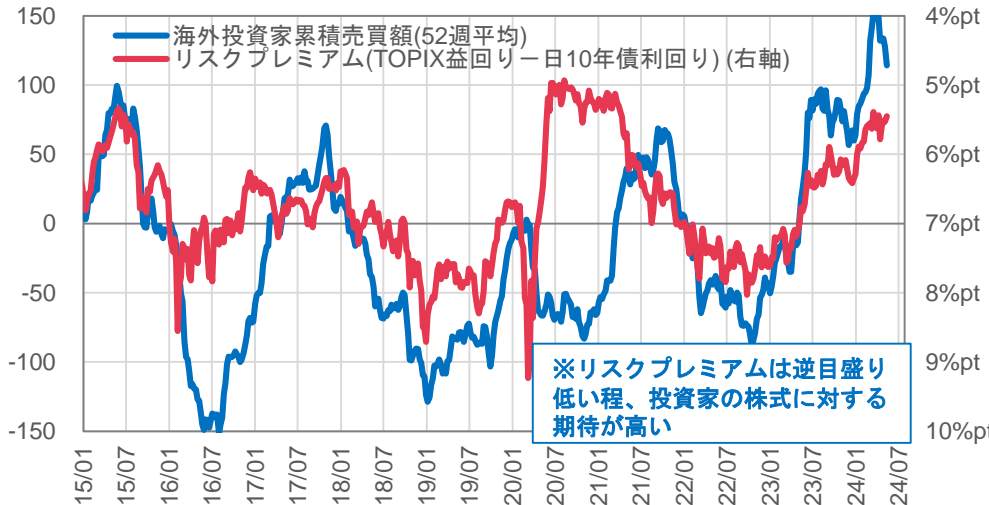


◎日本株需給分析② : 日本株はレンジ相場入りか

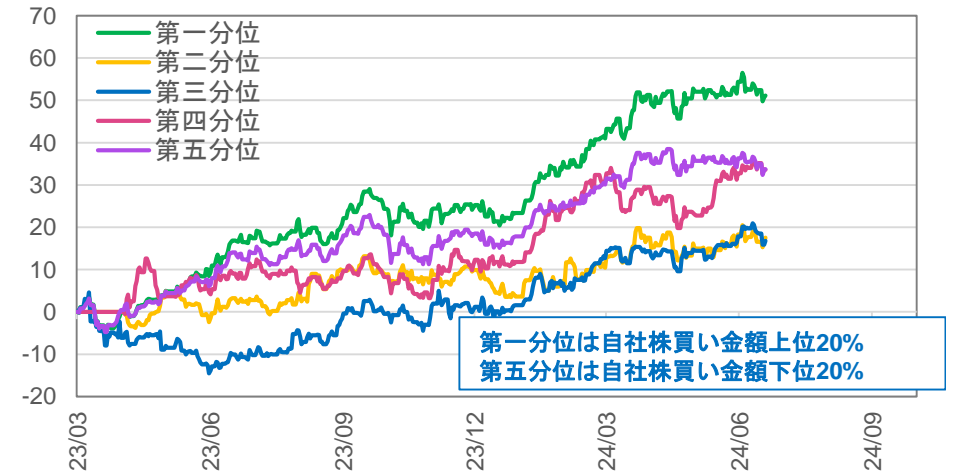
- ▶ 年初来海外投資家は日本株を買い越しており、それはリスクプレミアムの低下を通じて日本株上昇のドライバーとなってきたが、5月に多くの企業で保守的な会社計画が示されたこともあり、積極的な買い越しを期待し難い。前述の通り、海外投資家は足元で4週連続で日本株を売り越している。海外投資家が日本株を売り越す場合、個人投資家はその裏側で買い越すことで日本株はレンジ相場を形成しやすい。需給動向からは日本株のレンジ相場入りが見える(図表4)
- ▶ 自社株買い発表額は過去最高水準(図表5)。4~5月に発表された決算では、商社や外需関連企業を中心に大型の自社株買いが発表された。累計の自社株買い発表額は過去最高水準だった前年を60%以上、上回る
- ▶ 図表6は、直近1年間における自己株式取得額別の株価リターンである。東証からPBR改善要請のあった2023年3月以降のリターンを示している。第一分位は、日経平均株価採用銘柄のうち、上位20%が含まれるが、最も株価リターンが良好である。なお、第五分位のパフォーマンスも悪くないが、当該企業群には、利益を株主還元ではなく投資に振り向けるグロース企業が多く含まれているからであろう



(10億円) 図表4 : 海外投資家売買とTOPIXのリスクプレミアム



図表6 : 自社株買い金額別リターン (23/03=100)



(出所 : QUICK, Bloomberg)

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 日本株需給(6/10~6/14))

2024/6/21

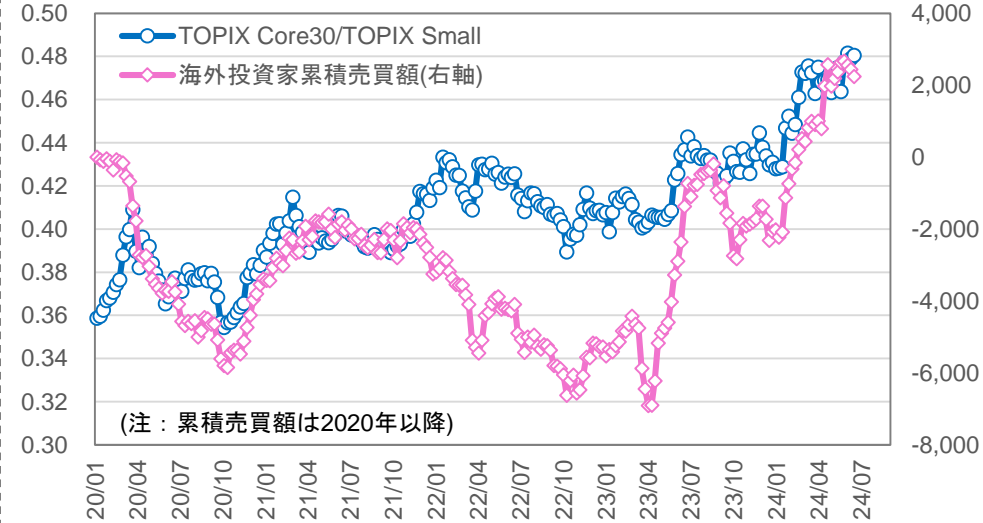
りそなホールディングス 市場企画部
ストラテジスト: 武居 大暉、渋谷 和樹



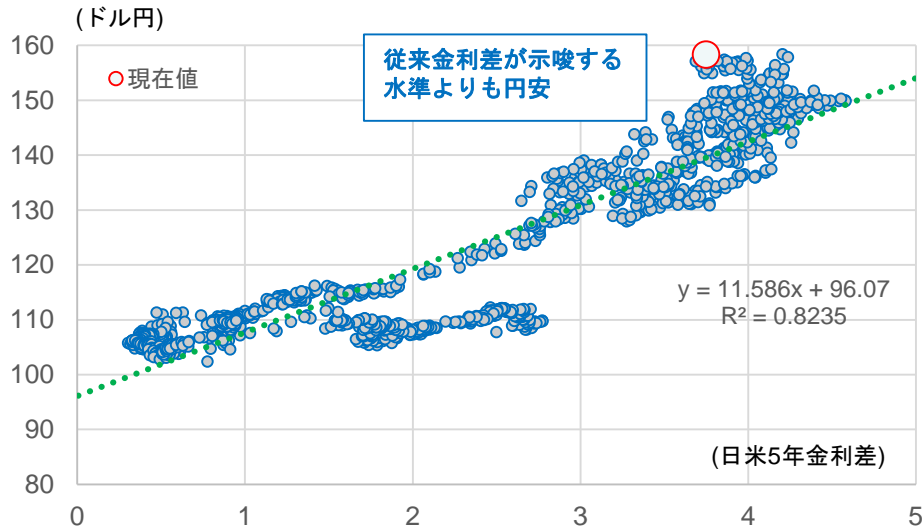
◎日本株需給分析③ : アセットマネージャーの円ヘッジは一服か

- ドル円は従来の日米金利差から示唆される水準よりも円安な水準で推移している(図表7)。理由の一つに、アセットマネージャーが日本株を買う際に、円のヘッジ売りを行ってきた可能性が高いと考えている
- 海外投資家の需給動向は、流動性の制約等から主に大型株に反映される。実際、TOPIX Core30÷TOPIX Small 指数(大型株の小型株に対する相対的な値動きが分かる)をみると、概ね海外投資家の累積売買動向と連動している様子が窺える(図表8)。そこで、アセットマネージャーの円ポジション変化幅とTOPIXコア30の変化幅の相関をみてみると、過去最低水準であることが分かる(図表9)。日本株を買う際の円のヘッジ売りが行われている可能性が高い
- もっとも、前述の通り、海外投資家の日本株買越しは一服しつつある。かかる状況下、両者の相関も依然として低水準ながらも反発の兆しが見える。今後の動向に注目したい

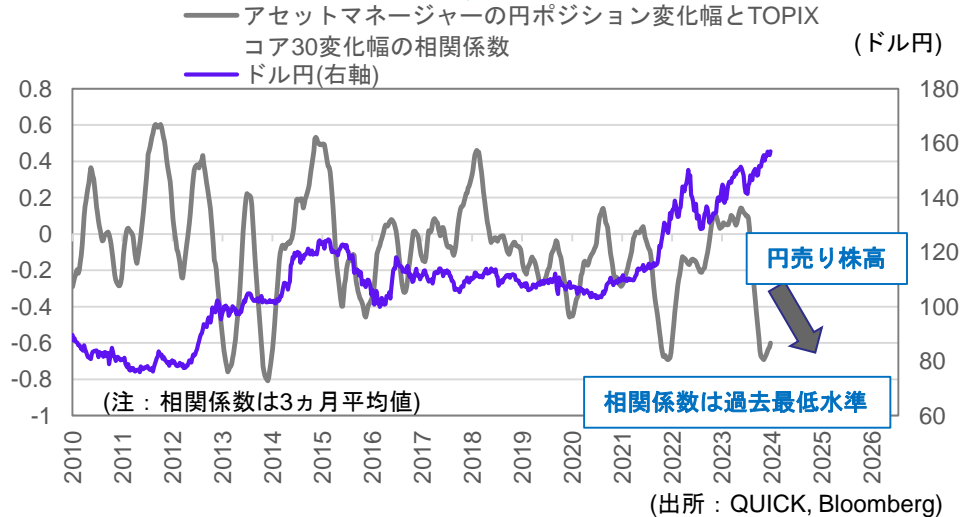
図表8 : TOPIX Core30/ TOPIX Smallと海外投資家の売買動向 (10億円)



図表7 : 日米5年金利差とドル円の関係(2019年1月~)



図表9 : アセットマネージャーの円ポジション、TOPIXコア30、ドル円の関係性



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 日本株需給(6/10~6/14))

2024/6/21
りそなホールディングス 市場企画部
ストラテジスト: 武居 大暉、渋谷 和樹

■バックナンバー

No	発行日	テーマ	タイトル
1	2024/4/2	米国経済, 米国株	日米 Market View : 3月ISM製造業景況感指数
2	2024/4/5	日本株	日米Market View : 日本株需給
3	2024/4/12	日本株	日米Market View : 日本株需給
4	2024/4/19	日本株	日米Market View : 日本株需給
5	2024/4/22	米国株	日米Market View : シリコンサイクルから見る米ハイテク株の展望
6	2024/4/23	日本株	日米Market View : 日本株バリュエーション
7	2024/4/26	日本株	日米Market View : 日本株需給
8	2024/5/2	米国経済	日米Market View : 5月FOMC
9	2024/5/7	米国経済, 米国株	日米Market View : 米国のAIブームはITバブルと同じ末路を辿るのか?
10	2024/5/13	日本株	日米Market View : 日本株需給
11	2024/5/13	日本経済	日米Market View : オルタナティブデータの活用~日経CPINow
12	2024/5/16	日本株	日米Market View : 3月決算企業の本決算と日本株への影響
13	2024/5/17	日本株	日米Market View : 日本株需給
14	2024/5/20	日本株	日米Market View : TOPIX採用企業の株主還元
15	2024/5/21	日本経済	日米Market View : オルタナティブデータの活用~HRog賃金Now
16	2024/5/23	米国株	日米Market View : エヌビディアの決算とマーケットへの影響
17	2024/5/24	日本株	日米Market View : 日本株需給
18	2024/5/30	日本株	日米 Market View : セクター動向
19	2024/5/30	欧州経済	日米欧 Market View : ユーロ圏賃金動向
20	2024/5/31	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給
21	2024/5/31	日本株	日米欧 Market View : 日本株バリュエーション~日本株の妥当レンジを試算
22	2024/6/4	欧州経済	日米欧 Market View : ユーロ圏物価動向
23	2024/6/7	欧州経済	日米欧 Market View : ECB<欧州中央銀行>理事会
24	2024/6/10	米国経済	日米欧 Market View : 5月雇用統計
25	2024/6/10	米国経済, 米国株	日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年6月)
26	2024/6/13	米国経済	日米欧 Market View : 5月CPI
27	2024/6/13	米国経済	日米欧 Market View : 6月FOMC
28	2024/6/14	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給
29	2024/6/19	米国経済	日米欧 Market View : 5月小売売上高
30	2024/6/20	コモディティ	日米欧 Market View : 銅価格

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。